



Masako Yasuki 安喜万佐子

'Living and working in a world of post-progressive history'



世界に実在する土地と直接向き合い、その土地から生まれ出る作品を作り続けています。それは絵画の形式で、そこに描かれるものを「風景」と呼ぶこともできます。

ただし、この「風景」とは、「社会」、「環境」、「自然」、そして「畏れ」といった概念に置き換えることもできる、世界の総称でもあります。人災等により姿を変えた都市や、人が立ち入ることの困難な深い森などを選んで描いています。

絵画の手法では、テンペラ、金箔などの近代以前の技法を現代に展開させ、ピグメント、岩絵の具といった東西を跨ぐ顔料を意識的に取り入れてきました。さらに、土地と人々の生活に触れ、現地で地面のフロッタージュや鉱物の採集を行い、それらを作品に組み込みます。そして、それら全ての行為を統合させながら、大地の肌理や街の空気、風、熱までもが内包され、記憶と現実、現在と過去、触れ得るものと触れ得ないものが、拮抗しながら立ち上がっていく作品を目指します。



Exhibition Photographs

展 覧 会 記 録

Masako Yasuki Exhibition 'Sea of Tome, Future Strata'
安喜万佐子展「時の海、明日の地層」

FEI ART MUSEUM YOKOHAMA 神奈川 2022 年
Kanagawa, Japan 2022



それは〈時〉と〈土地〉（大地といってもいい）という変数によって刻々姿を現わす函数の喩である。函数を絵画にする、あるいは、絵画を函数にする。

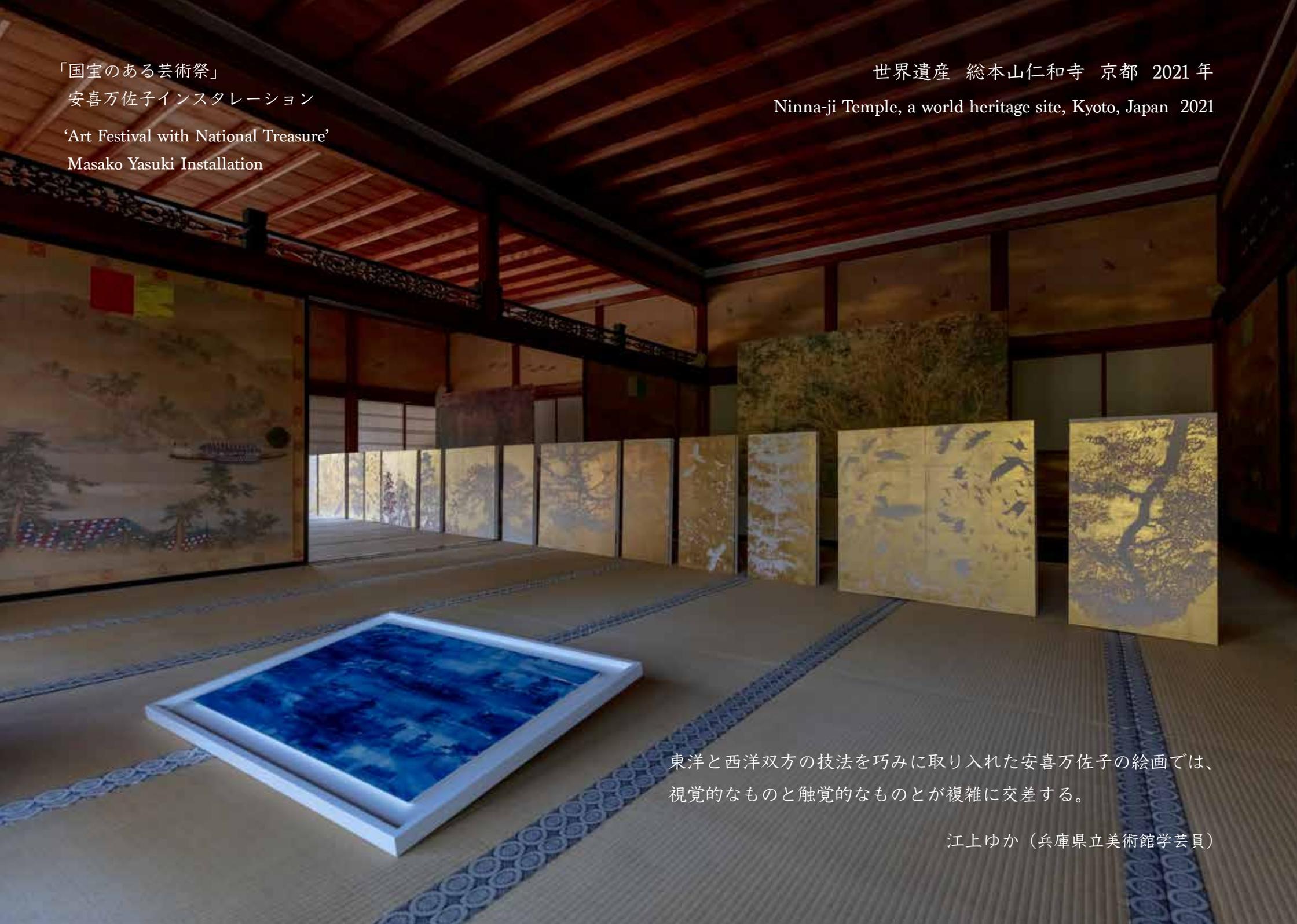
安喜万左子の〈絵〉はだから、生きている。そんな生き物にわれわれは、やはりみずからの身体を動かし、その息遣いを感じとる位置を探していかねばならない。

この絵との距離の測りかたは、人はいまをいかに生きるべきか、という問いへの一つの示唆を運んで来る。

木下長宏（思想史）

「国宝のある芸術祭」
安喜万佐子インスタレーション
'Art Festival with National Treasure'
Masako Yasuki Installation

世界遺産 総本山仁和寺 京都 2021年
Ninna-ji Temple, a world heritage site, Kyoto, Japan 2021



東洋と西洋双方の技法を巧みに取り入れた安喜万佐子の絵画では、
視覚的なものと触覚的なものとが複雑に交差する。

江上ゆか（兵庫県立美術館学芸員）



安喜万佐子展「影の足跡」

Masako Yasuki Exhibition 'traces of the shadow'

アートスペース羅針盤 東京 2016年
ART SPACE RASHINBAN, Tokyo, Japan 2016



KIMIKO YOSHIDA & MASAKO YASUKI EXHIBITION

(日露文化交流年企画・日本の現代美術とは何か)

RuArts Gallery モスクワ 2018年

安喜万佐子展示風景と取材風景



KIMIKO YOSHIDA & MASAKO YASUKI EXHIBITION

‘Contemporary Art in Japan’

– an exhibition in celebration for the Official Year of Cultural Exchange between Japan and Russia.



RuArts Gallery 2018

Photos of Masako Yasuki exhibits & interview.

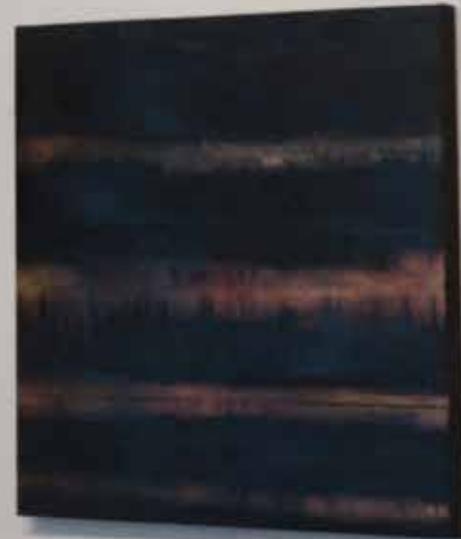


「絵画：想起のかたち」 ‘Paintings: Reflections on Forms, Shape of Recollection’

奈義町現代美術館 岡山 2023年 Nagi Modern Museum of Contemporary Art, Okayama, Japan 2023

Masako Yasuki Exhibition '*Fu-kei* -LANDSCAPE SUICIDE'

Artcomplex Center of Tokyo, B1 Hall 2014



Obliterated Ground

A series of cityscapes

変容した街 シリーズ

主に人災により消失し、再生された
実在の街を描くシリーズ。

街の地表をフロッタージュで写し
とった痕跡を手掛かりに、多視点か
ら街の姿を捉えます。

地を這う視点、空からの視点、さら
に取材した事象も身体的に重ね合わ
せることで、大画面に、不可視の記
憶や人の営みが重層的に開示するこ
とを目指しています。



フロッタージュで地表の記憶を集める
Coventry, England, 2020

網膜の雪 obliterated ground (snow in Hiroshima)



顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
180cm × 270cm 2004-2018



うつされた時・うつされない像 - 地表と記憶を集め、絵画にする (コヴェントリー・英国) ドキュメンタリー FHD-digital 3'45" (loop) 2023 (映像:前田真二郎)
Collection and Recollection of Exposed Time and Invisible Forms (Coventry, England) 2023



時の海・明日の地層

Sea of Time, Future Strata

テンペラ (顔料・土・焼銀)・油彩 / 木パネル・麻布・ポローニャ石膏
pigment, soil, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
170cm × 450cm 2021-2022



obliterated ground

顔料・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
pigment, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
200cm×300cm 2001

これは、“Obliterated Ground (消えた土地)”という、安喜万佐子が扱う大きなシリーズのひとつで、このシリーズの多くは、日本の、第二次大戦中に焼失した街を扱っています。扱われた街は、全て、実在する街であり、作品は、その実在の場所に基づいて創られています。例えば、この作品で取り扱われた場所は、大戦中、米軍による空爆後、未使用となった爆弾を空から捨てる場として設定されたことにより焼失した街ですが、その街の、戦後すぐに撮られた航空写真のイメージと、彼女自身が丘の上から見た同じ街の美しい夜景の記憶が重ねられることによって生まれました。更に、彼女は、街のアスファルトをフロッタージュして歩き、そのフロッタージュイメージを作品に重ねていきました。すなわち、この作品は、3つの違うイメージの層によって出来ています。また、描画に関しては、西洋・東洋、両方の素材を取り入れることに加え、実際の街の土が、顔料として使用されています。

作家の言葉。「∴歴史として知り記憶している事と、実際に目の前の風景によって引き起こされる実在的な身体感覚が一致する事はありません。描く事によってそれらを拮抗させながら、現実という矛盾を体験することを目的に、このシリーズを始めました。」

『Collecting Art of Asia』 Smith College 美術館カタログ (英文 ∴ Linda Muehling)

Yasuki incorporates *frottage* into her paintings,
taking charcoal rubbings of the ground in the places that inspire them.
街の地面を、フロッタージュで写しとる。



Momentia

顔料・テンペラ・油彩・麻布・木パネル・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna

170cm×300cm 2013-2014



地
の
熱 heat under the ground

顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
120cm×360cm 2015



三月の光／白い影 — 記録はいつも「勝者」のもの
March Light / White Shadow – the photographic record is made by the ‘winners’

テンペラ・油彩・麻布・木パネル・ボローニャ石膏
tempera, oil, wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
100cm×160cm 2015



三月の光／白い影

March light, white shadow
顔料 / 絹本・刺繡枠 Φ25cm 2018 年
pigment, silk, embroidery frame (diameter 25cm)
2018

三月の光／白い影

March light, white shadow
顔料 / 絹本・刺繡枠 Φ23cm 2018 年
Pigment / silk, embroidery frame (diameter 23cm)
2018



Natural Landscapes and Forests Deep

深い森シリーズ

深い森、樹海などに分け入り制作されるシリーズ。

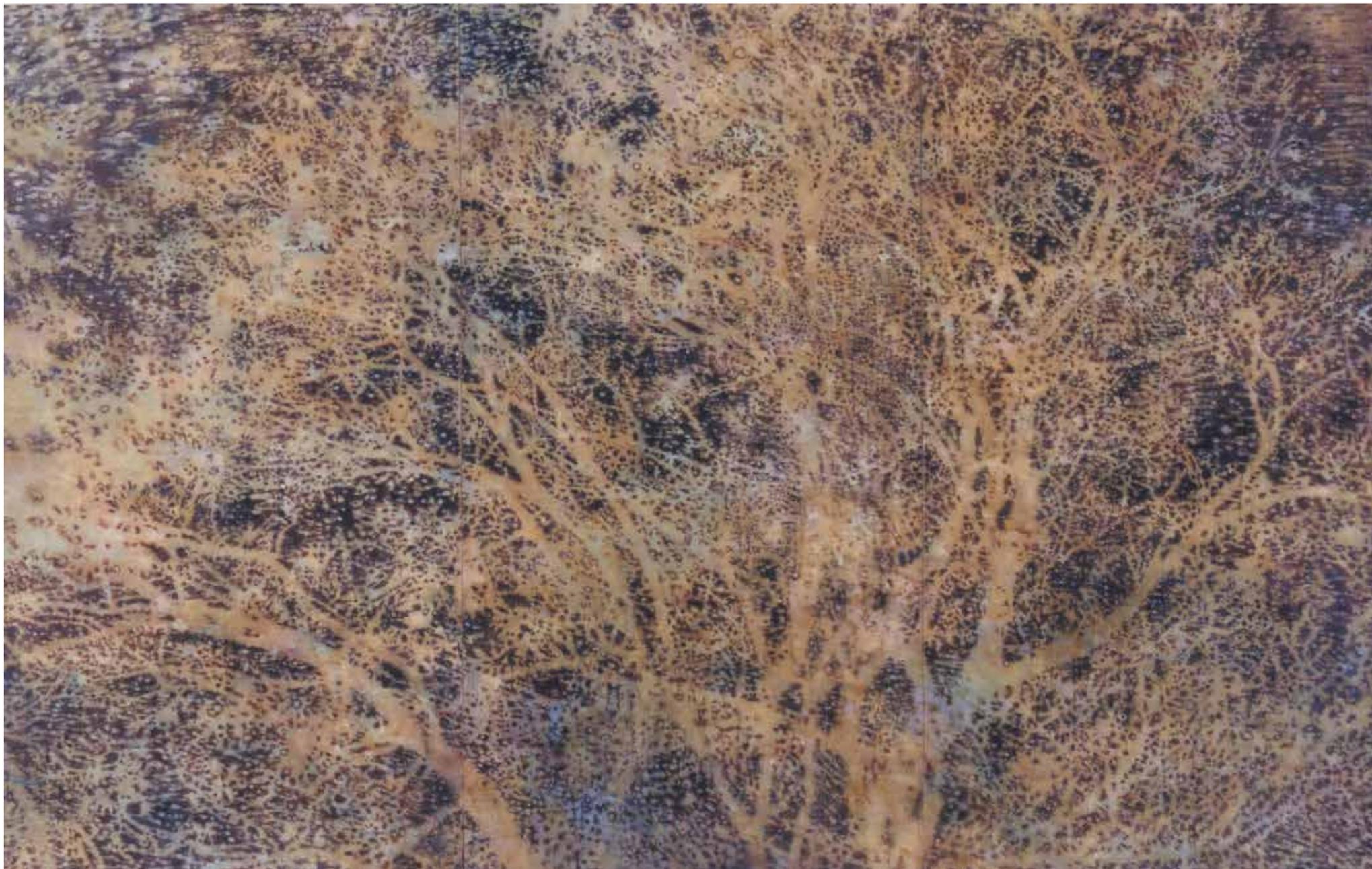
日常の習慣の中の身体性が機能しない場所を描こうとしています。

現場の土や鉱物も、しばしばテンペラの顔料として組み込まれます。



土や鉱物から絵の具を作る

森をフロタージュする



thousand years

顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna

160cm×255cm 2017-2018



shadow scape — forest west, lightning east

顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ボロ-ニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
160cm×255cm 2017-2018



カオス・フロム・オーダー、オーダー・フロム・カオス <北の森>
Chaos from Order, Order from Chaos-North Forest 2020

テンペラ (顔料・土)・油彩 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
200cm × 300cm 2019-2020



時の霧
(伊吹)

Mists of Time (Ibuki)

顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ゴローニャ石膏
tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
170cm × 160cm 2022-2023



時の霧 (唐崎の松)

Mists of Time (Karasaki Pine)

金箔・銀箔・硫黄・顔料 / 六曲屏風
gold leaf, silver leaf, sulfur, pigment / six panel folding screen
182cm × 377cm 2022-2023



absence of light — a lake 北緯 51.18 東經 115.6

absence of light — a lake north latitude 51.18, east longitude 115.6

顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna 140cm×210cm 2011



40cm × 40cm 2018

顔料・銀箔・硫黄 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, silver leaf, sulfur/
wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna

満月図
— full moon



25cm × 25cm 2018

顔料・銀箔・硫黄 /
木パネル・ボローニャ石膏
pigment, shell powder, silver leaf /
wooden panel, Gesso Bologna
15cm × 15cm 2016



熱の足跡
traces of heat



‘positive image - 北緯 52 度 西緯 118 度の像 #2’
‘positive image - north latitude:52, east longitude:118 #2’

50cm×80cm 2014

顔料・胡粉・テンペラ・油彩 / 木パネル・麻布・ポローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, oil / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna



positive image – midnight summer

30cm×30cm 2014



‘positive image - 北緯 52 度 西緯 118 度の像’
‘positive image - north latitude:52, east longitude:118 #2’

50cm×80cm 2011

Works in Gold Leaf

金箔剥離シリーズ

「人が棲んでよい領域」と「畏怖なる領域」と決められた境界線への関心から 海岸線に植えられている松に着目し展開しているシリーズ。

浮かび上がる像は、描かれたものではなく、一度全面に貼られた金箔が時間の経過の中で、膠のついていなかった部分が剥離した像であり、実在と不在が反転しています。



伝統的な手法で和箔を貼る



いかなる存在も時間からなり、時間をこそ共有する。
安喜の風景画の数々は、時間を荘厳するとともに、
そこでは時間が荘厳するのだと、言いたい誘惑に駆られるのである。

篠原資明（高松美術館館長）

対立する概念、対になる思想のあいだをつねに揺れながら、揺らしながら、
自分の問いを確かめて行くこと。
安喜万佐子の絵画に揺蕩っているこの生きることへの畏怖の情。
人間の活動のなかの異領域の軌跡は、
この明滅する畏怖によって、響き合い映し合って行く。

木下長宏（思想史）



沈黙の水鏡、暁の鳥
silent reflections, birds at dawn

金箔・胡粉・顔料 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏
gold leaf, shell powder, pigment / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
90 cm×650 cm (90 cm×50 cm each) 2020-2022
+ birds, waves, snow (映像：前田真二郎)



Procession of Light

光
の
行
進

金箔・顔料 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏

映像：前田真二郎

gold leaf, pigment / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
UHD-digital 2'10" (loop) 2023 (Video produced by Shinjiro Maeda)



松
林
図 pine trees

金箔・顔料 / 麻布・木パネル・ボローニャ石膏
gold leaf, pigment, shell powder / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
90cm×600cm 2011



松林図 pine trees

金箔・顔料 / 木パネル・麻布・ボローニャ石膏 2018-2019

Gold leaf, pigment, shell powder / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
2018-2019

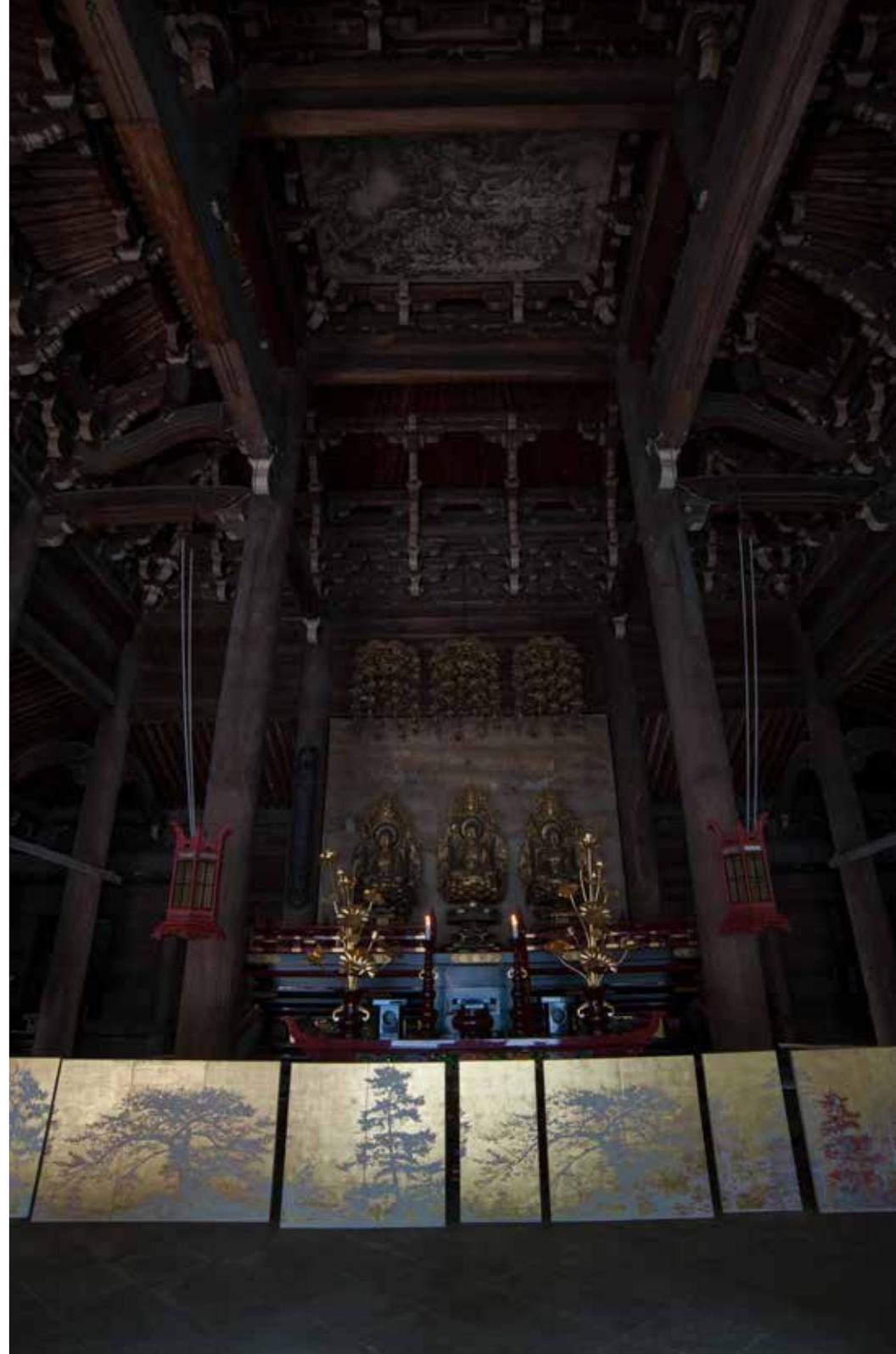
泉涌寺仏殿 インスタレーション

伝・運慶（13世紀）による御本尊と、狩野探幽（17世紀）の天井龍を仰ぐ。

京都 2019年

Installation at Sennyu-ji Temple Butsuden (Buddha Hall) in collaboration with Unkei's 13th century Buddha statues, and Kano Tanyu's 17th century ceiling painting of a dragon.

Kyoto, Japan 2019





exposed scape - childhood tree

金箔・顔料 / 麻布・木パネル・ボローニャ石膏

gold leaf, pigment, shell powder / wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna

63cm × 75cm 2010

伝統的な日本の顔料が西洋のものと組み合わせられ、絵の中で共生する。時には金箔や銀箔が使用され、独特の日本の形式的特徴が、組み込まれていく。

At times she mixes traditional Japanese pigments which she then combines with Western ones in her paintings. She uses gold and silver leaf and also incorporates some of the distinctive characteristics of Japanese formats into her works.



松 林 図 pine trees – tea screen

一
風
呂
先
屏
風

金箔・顔料 / 木パネル・ボローニャ石膏

gold leaf, pigment, shell powder / wooden panel, paper, Gesso Bologna

36.4cm × 187.6cm 2012

「風景」を、彼女は、高い空から見下ろす視点に立ち
(これは俯瞰ではない、むしろ東洋画の三遠の一つ「深遠」の視点である)、
そういう高くから見下ろす絵を、フロッタージュのような地表を擦る方法で描き
(これは仰ぎ見上げる「高遠」の初原的な姿勢だ)、
松林を描く絵では、文字通り「平遠」の眼差しで「絵」にしようとしている。
空からの視点も、地表を這う視点も、「平遠」の視点も、
「近代の人間」の視点から離脱しようとしている点で共通している。

木下長宏 (芸術思想史)



Yasuki uses three methods to paint such landscapes.
The first is to look downward from an elevated vantage point.
This is not a bird's eye view, but akin to '*shin-en*', an ancient East Asian method of painting that looks deep,
but not with depth perspective, from a high point of view.
The second is *frottage*, a means in which she rubs the surface of the earth,
and which is reminiscent of '*ko-en*' – looking up high while crawling on the earth's surface.
This is also a method of old East Asian art used for landscapes.
The third is '*hei-en*', another ancient East Asian method
which entails looking at landscape from the horizon,
and which Yasuki realises in her Pine-Trees Landscape works.

Nagahiro Kinoshita (*History of Thought, Art*)

Scroll Paintings 巻物



那岐山絵巻
Mt. Nagi Scroll (details)

木炭 / 紙 charcoal, paper
18cm × 273cm 2023

山奥の岩肌や樹の根に紙を置き、木炭でこすり、浮き上がってきた像をつなぎ合わせ、絵巻に仕立てる。

This scroll was created from *frottage* taken on a trek deep into the mountains, and represents the landscape encountered en route.



海岸線を歩きながら、水彩で絵巻物として描いていくプロジェクト
quick drawings while walking along a coastline



海岸線
絵巻
coastline scroll drawing



水彩・紙 watercolor, paper 70cm×200cm 2018

Commissions

コミッションワークス



Cartier



金箔・プラチナ箔・焼銀箔・顔料 / 紙・金属板 gold leaf, platinum leaf, oxidized silver leaf, pigment / paper, metal panel 150cm × 437cm 2021



祇園祭
Festival Kyoto Screen

金箔・プラチナ箔・焼銀箔・顔料 / 木パネル・麻布・
ボローニャ石膏
pigment, shell powder, tempera, gold leaf platinum leaf /
wooden panel, hemp cloth, Gesso Bologna
120cm × 400cm 2017



安喜万佐子 Masako Yasuki

- 1994年 京都精華大学大学院美術研究科 修了
2001年 英国エジンバラ芸術大学 ゲストアーティスト
(ART-EX・大阪府芸術家派遣事業)
2004年 米国アーモスト大学 ゲストアーティスト
2015年 米国スミス大学 滞在研究員 (文化庁新進芸術家海外派遣)
2020年 英国ロンドン芸術大学 ゲストアーティスト

■ 主な個展

- 1993年 ギャラリー16 (初個展)
1998年 「明るさの世界で見るために」 ギャラリー16 (京都)
2000年 「real / time」ギャラリエ アンドウ (東京)
2001年 「the presence between things」ギャラリー手 (東京)
Sculpture Court Gallery [エジンバラ芸術大学] (エジンバラ/英国)
2002年 「Edinburgh Project」大阪府立現代美術センター
2003年 BASE GALLERY (東京)
2005年 「a ground」ギャラリー16 (京都)
ギャラリー手 (東京)
2006年 CUBIC GALLERY (大阪)
「a thousand years」ギャラリー手 (東京)
2009年 「蒸発する時間 / 結晶する場面」ギャラリー16 (京都)
2011年 「Absence of Light - 歩行と逆光 -」ギャラリー16 (京都)
2014年 「風景 - LANDSCAPE SUICIDE」The Artcomplex Center of Tokyo Hall
2015年 「白い影 / 三月の光」ギャラリー勇斎 (奈良)
「光の趾音 - Light treading the ground -」ギャラリー16 (京都)
2016年 「影の足跡 - traces of the shadows -」アートスペース羅針盤 (東京)
「時の海・光の輪郭」大和文華館・文華ホール (奈良)
2018年 「shadow scape - forest west, lightning east」ギャラリー勇斎 (奈良)
「暁の石 / 沈黙の水鏡」The Artcomplex Center of Tokyo Hall (東京)
2020年 「Chaos from Order <時の庫>」京都場
「Order from Chaos <明日の地層>」ギャラリー16 (京都)
2022年 「時の海・明日の地層 - Sea of Time, Future Strata」
FEI ART MUSEUM YOKOHAMA (神奈川)
2023年 「光の行進 - うつされた時・うつされない像」ギャラリー16 (京都)
「時の霧 - 近江景」2kw ギャラリー (滋賀)

■ 主なグループ展

- 1997/1998年 「絵画の方向 '97」「絵画の方向 '98」大阪府現代美術センター
1999年 「VOCA展 '99」上野の森美術館 (東京)
2000年 「京都市新鋭美術選抜展 2000」京都市美術館
「INCUBATION 00」京都芸術センター
2001年 「京都府美術工芸新鋭選抜展 ~ 2001 新しい波」京都府京都文化博物館
2002年 「VOCA展 '02」上野の森美術館 (東京)
2004年 「Confronting Tradition」スミスカレッジ美術館 (マサチューセッツ州・米国)
<上野真知子・秋山陽・中ハシクシゲ・森村泰昌・安喜万佐子>
2005年 「City_net Asia」ソウル市立美術館 (韓国) <池田啓子・片山雅史・国谷隆志・
少年少女科学クラブ・前田朋子・宮永愛子・安喜万佐子>
2008年 「Out of Sight, Still in Mind」Gallery Hangil (パジュ / 韓国)
2010年 「GOLD EXPERIENCE」Hyun Gallery (ソウル / 韓国)
2011年 「風景の逆照射 Inverse Perspective Project」京都精華大学 Gallery Fluer
2013年 「Collecting Art of Asia」スミスカレッジ美術館 (マサチューセッツ州・米国)
「GOLD EXPERIENCEII」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー
「Inverse Perspective Project」モスクワビエンナーレ特別プログラム (モスクワ)
2016年 「超克する少女たち 2」CAS (大阪) <Aki INOMATA・片山真理・菅野由美子・安喜万佐子>
「3331 ART FAIR コレクターズプライズ」アーツ千代田 3331 (東京) 長屋博賞受賞
2018年 「KIMIKO YOSHIDA & MASAKO YASUKI」RuArts Gallery (モスクワ)
2019年 「未景展」御寺泉涌寺 (京都)
2021年 「国宝のある芸術祭 2021」総本山仁和寺・京都
2022年 「きがふれて vol.2 - 日高理恵子・安喜万佐子・山部泰司」ギャラリー16 (京都)
「京都場 5周年展 個・身体・共同体」京都場
<安藤榮作・伊島薫・木村了子・祥州・関本幸治・中津川浩章・藤井健仁・安喜万佐子>
「Seika Artist File #1 ゆらめくいきものたち」京都精華大学 Gallery Terra-S
<イケガミヨリユキ・今村源・衣川泰典・野田ジャスミン・船井美佐・ミロコマチコ・安喜万佐子>
2023年 「絵画：想起のかたち 佐川晃司×安喜万佐子」奈良町現代美術館 (岡山)

■ パブリックコレクション

- Smith College 美術館 (マサチューセッツ州・米国)
大分県立美術館 (利岡コレクション)
総本山仁和寺 (京都)
リッツ・カールトン東京 (東京ミッドタウン)
カルティエ・ジャパン、他